



武蔵村山市

生活実態調査（16～17歳保護者票）

保護者の皆様へ

日頃、市政運営に御理解、御協力をいただきありがとうございます。

さて、武蔵村山市では、このたび、本市の子どもを取り巻く現状や取り組むべき課題を把握し、今後の計画の策定に生かすための「武蔵村山市 生活実態調査」を実施することといたしました。

この調査は、市内に住む高校2年生にあたる年齢のすべてのお子さんとその保護者の方に御協力をお願いしております。

お忙しいところ恐れ入りますが、子どもたちの生活実態を正確に把握するため、ありのままの状況を御回答くださいますようお願い申し上げます。

なお、対象のお子さんが2人以上いて、御家庭に複数の調査票が届いた場合、保護者の方は、お子さんごとに調査票を記入し、各々提出くださるようお願いいたします。

ご記入にあたってのご注意

- このアンケートは、お子さんの保護者の方が、お答えください。
- この調査は無記名です。お名前をお書きいただく必要はありません。
- ご回答は、鉛筆か、黒または青のボールペンで、回答の番号に○をつけるか、数字や文章で書いてください。お答えになりたくない質問は飛ばして、次の質問にお進みください。
- 「その他」に○をつけた場合は、()内にその内容を具体的にご記入ください。
- いただいたご回答は統計的に処理され、個人が特定されることはありません。
- ご記入いただいたアンケート用紙は、「保護者票用」と書かれた水色の封筒に入れ、お子さまの調査票を入れた「子ども票用」と書かれた封筒と一緒に返信用の封筒(大)に入れ、2月19日(月)までに、郵便ポストへ投函してしてください(切手は必要ありません)。
- 回答は、インターネットでも可能です。その場合は右の二次元コードもしくは、以下のURLからアクセスし、IDを入力の上回答してください。

URL: <https://questant.jp/q/0II9N55I>

ID :22●●●●



この調査について、ご不明点等がございましたら、すべて市役所の下記担当までお願いします。

武蔵村山市役所 福祉総務課市民なやみごと相談係

お問い合わせ電話番号：042-565-1111（内線 155・156）

(8:30～12:00、13:00～17:15 土日・祝日を除く)

※このアンケートのなかの「お子さん」とは、封筒の宛名のお子さんを指します。

あなたのこと、あなたの世帯のことについておうかがいします

問1 お子さんとあなた(回答者)との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄で、お答えください。(○は1つ)

1 父親	4 祖母	7 施設職員 (→施設職員の方は以後の設問に対して、回答できる範囲で回答してください)
2 母親	5 兄弟姉妹	
3 祖父	6 その他(具体的に)	

問2 あなたの年齢を教えてください。(枠内に数字で回答してください)

	歳
--	---

問3 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。(○は1つ)

1 結婚している(事実婚を含む)	3 未婚	5 死別
2 離婚(別居中を含む)	4 非婚	

問3-1 問3で「2.離婚」を選んだ方にお伺いします。離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、現在養育費を受け取っていますか。(○は1つ)

1 取り決めをしており、養育費を受け取っている
2 特に取り決めはしていないが、養育費を受け取っている
3 養育費の取り決めをしているが、受け取っていない
4 養育費の取り決めをしておらず、受け取っていない

問4 お子さんと同居しているご家族の人数を教えてください(あなたとお子さんも含む)。単身赴任などで別居しているご家族も含めてください。

	人
--	---

問5 お子さんと同居しているご家族の方は、どなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。複数いる場合は、人数もお教えてください。

(あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字で回答してください)

1 父親	3 祖父(人)	5 その他の親せき(人)
2 母親	4 祖母(人)	6 その他(人)

問5-1 宛名のお子さんを含め、世帯内のお子さんの年齢、また、手帳や受給者証を取得されている場合は、その種別も教えてください。

	一人目	二人目	三人目	四人目
年齢	歳	歳	歳	歳
障害者手帳・小児慢性特定疾病受給者証の有無	<input type="checkbox"/> 身体 <input type="checkbox"/> 療育(愛の手帳) <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 小児慢性特定疾病	<input type="checkbox"/> 身体 <input type="checkbox"/> 療育(愛の手帳) <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 小児慢性特定疾病	<input type="checkbox"/> 身体 <input type="checkbox"/> 療育(愛の手帳) <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 小児慢性特定疾病	<input type="checkbox"/> 身体 <input type="checkbox"/> 療育(愛の手帳) <input type="checkbox"/> 精神障害 <input type="checkbox"/> 小児慢性特定疾病

問6 お子さんと同居している大人の家族の中に、高齢・障がいまたは病気などによって、介護や看護が必要な方はいますか。(○は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

問7 お子さんのご両親の国籍を、教えてください。(それぞれあてはまる番号1つに○)

お母さん	→	1 日本	2 日本以外
お父さん	→	1 日本	2 日本以外

問7-1 問7で「2 日本以外」を選んだ方にお伺いします。家のなかで話している主な言語を教えてください。

1 日本語	2 日本語以外()
-------	------------

問8 現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。(○は1つ)

1 持ち家	4 都市再生機構(UK)・公社などの賃貸住宅
2 民間の賃貸住宅	5 給与住宅(社宅・公務員住宅など)
3 都営または市営の賃貸住宅	6 間借り・その他

問8-1 1か月あたりの住居費負担はいくらですか。持ち家の場合は住宅ローン返済額、賃貸の場合は、家賃または間代および共益費または管理費(共用部分の電気料・清掃費など)を教えてください。
※住居費の負担がない場合は0とご記入ください。

A 持ち家 (問8で「1」を選んだ方)	⇒	【1か月あたりの住宅ローン返済額】	円
B 賃貸住宅 (問8で「2」～「6」を選んだ方)	⇒	【家賃・間代(共益費・管理費)を含む】	円

お子さんのお母さんとお父さんの職業についておうかがいします

問9 お子さんのお母さんとお父さんの現在のご職業は、次のどれに最も近いですか。お母さん、お父さんがいない場合は、空欄で結構です。(それぞれ、あてはまる番号1つを口に入れてください)

1 会社役員	6 自営業(家族従業者を含む)	11 専業主婦(夫)	} →問 10 へ
2 民間企業の正社員	7 自由業	12 学生	
3 公務員などの正職員	8 団体職員	13 引退(退職)	
4 契約社員・派遣社員・嘱託社員	9 その他の働き方をしている	14 その他の無職	
5 パート・アルバイト・日雇い・ 非常勤職員	10 個人業務請負※注	15 わからない	

注：「個人業務請負」とは、ウーバーイーツの配達人など労働契約ではなく、個人で企業と請負契約を結び、仕事をする場合を指します。

お母さん

お父さん

問9-1 問9で「1」～「10」を選んだ職業をおもちの方におうかがいします。

1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。(枠内に数字で回答してください)

※複数のお仕事をもっている場合は合算してください。

お母さん：週に平均

時間

お父さん：週に平均

時間

問9-2 問9で「1」～「10」を選んだ職業をおもちの方におうかがいします。

昨年1年間(令和4年1月～12月)を合計したお仕事からの収入は、およそいくらですか。

(枠内に数字で回答してください)

※収入なしの場合には、0をご記入ください。

お母さん：

万円

お父さん：

万円

問9-3 問9で「1」～「10」を選んだ職業をおもちの方におうかがいします。

平日の日中以外の勤務がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

	早朝 (5～8時)	夜間 (20～22時)	深夜 (22～5時)	土曜	日曜・祝日	左記の勤務は ない
お母さん	1	2	3	4	5	6
お父さん	1	2	3	4	5	6

新型コロナウイルス感染症によるあなたのご家庭への影響についておうかがいします

問 10 新型コロナウイルス感染症拡大の前(令和2(2020)年3月以前)に比べ、お子さんのお母さんとお父さんは、以下のようなことがありますか。令和5(2023)年1月時点の状況について、お答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

	転職した	め た 仕 事 を 辞 め	の 減 少 の 労 働 時 間	の 増 加 の 労 働 時 間	働 の 増 加 (夜間・週 末など)労 働	の 増 加 の テレ ワー ク	な い ど れ も 経 験 し て い ない
お母さん	1	2	3	4	5	6	7
お父さん	1	2	3	4	5	6	7

問 11 新型コロナウイルス感染症拡大の前(令和2(2020)年3月以前)に比べ、お子さんのお母さんとお父さんの(1)収入と(2)労働時間はどのように変わりましたか。令和5(2023)年1月時点の状況について、お答えください。

10割減	5割以上減	2～3割減	1割減	変わらない	1割増	2～3割増	5割以上増
1	2	3	4	5	6	7	8

(それぞれ、あてはまる番号1つを口^①に書いてください)

	お母さん	お父さん
(1) 収入		
(2) 労働時間(テレワーク含む)		

お子さんの健康状態についておうかがいします

問 12 お子さんの健康状態について最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1 よい	3 ふつう	4 あまりよくない
2 まあよい	5 よくない	

問 13 令和4 (2022)年 9 月から今まで、お子さんは以下の予防接種を受けましたか。(それぞれ、○は1つ)

※新型コロナワクチンの接種は無料で受けられます。インフルエンザは有料です。

	受けた	受けなかった			
		金銭的 理由	時間の 制約	受けさせたくなかつ た/方針で	その他の 理由で
A インフルエンザ	1	2	3	4	5
B 新型コロナワクチン	1	2	3	4	5

問 14 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(○は1つ)

1 あった	2 なかった →問 15 へ
-------	----------------

問 14-1 問 14 で「1 あった」を選んだ方におうかがいします。

その理由は、何ですか。以下の中から、最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
2 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
3 子ども本人が受診しなかったため
4 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
5 最初は受診させようと思ったが、子どもの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
6 自分の健康状態が悪かったため
7 その他(具体的に)

あなた(回答者)についておうかがいします

問 15 あなたの健康状態について最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1 よい	3 ふつう	4 あまりよくない
2 まあよい	5 よくない	

問 16 次のAからFの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	全くない
A 神経過敏に感じましたか	1	2	3	4	5
B 絶望的だと感じましたか	1	2	3	4	5
C そわそわ、落ち着かなく感じましたか	1	2	3	4	5
D 気分が沈み込んで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか	1	2	3	4	5
E 何をするのも骨折りだと感じましたか	1	2	3	4	5
F 自分は価値のない人間だと感じましたか	1	2	3	4	5

問 17 あなた自身には、自分が持っている(できる)以下のものがありますか。「ある(できる)」、「金銭的にできない」「必要でない(いらぬ)」のうち最もあてはまるものに○をつけてください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	ある (できる)	ない(できない)	
		金銭的に できない	必要でない (いらぬ)
A 自分自身のために使うことができるお金(月 5000 円)	1	2	3
B 最低2足の靴	1	2	3
C 古くなった服を買い替える	1	2	3
D 友人や家族と1カ月に1回ほど外食する	1	2	3
E 自宅で自分が使えるインターネット環境	1	2	3
F 自分の趣味やレジャーのためのお金	1	2	3

お子さんにしていることについておうかがいします

問 18 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。(○は1つ)

1 中学まで	3 短大・高専・専門学校まで	5 まだわからない
2 高校まで	4 大学またはそれ以上	

問 19 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	あ る	な い		
		金銭的な 理由で	時間の 制約で	その他の 理由で
A 海水浴や山登りに行く	1	2	3	4
B 博物館・科学館・美術館などに行く	1	2	3	4
C キャンプやバーベキューに行く	1	2	3	4
D スポーツ観戦や劇場に行く	1	2	3	4
E 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3	4
F 国内旅行に行く(1泊以上)	1	2	3	4
G 海外旅行に行く(1泊以上)	1	2	3	4

問 20 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Jについて、「1 している」「2 していない、したくない(方針でしない)」「3 していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ、○は1つ)

	している	していない	
		したくない (方針でしない)	経済的に できない
A 毎月お小遣いを渡す	1	2	3
B 毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる	1	2	3
D 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう、 オンライン含む)	1	2	3
E お誕生日のお祝いをする	1	2	3
F 1年に1回くらい家族旅行に行く	1	2	3
G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3
H 修学旅行などお金がかかる学校の活動	1	2	3
I パソコンかタブレットを与える	1	2	3
J スマートフォンを与える	1	2	3

問 21 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人(家族、友人、親戚、同僚など)がいますか。
(○は1つ)

1 いる	2 いない
------	-------

問 22 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 子どもの年齢に合った本	8 月に一度の友だちや家族との外食
2 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	9 電話(固定電話・携帯電話を含む)
3 子どもが自宅で宿題をすることができる場所	10 インターネットにつながるパソコン
4 テレビ	11 冷蔵庫
5 暖房器具	12 洗濯機
6 自家用車	13 急な出費のための貯金(5万円以上)
7 エアコン	14 あてはまるものはない

家計の状況についておうかがいします

- 問 23 あなたの世帯で、次のような公的年金、社会保障給付金を受給していますか。(受給か非受給に○)
 ※該当する収入がない場合には、0とご記入ください。
 ※兄弟姉妹等にかかわる手当等も含まれます。
 ※「児童手当」は15歳までのお子さんのための手当です(所得制限あり)。「児童育成手当」「児童扶養手当」は、所得が一定水準以下のひとり親世帯等のための手当です。

	受給の有無	金額 (1ヵ月あたり)	
A 児童手当(中3までのお子さんがある所得制限以下の子育て世帯への給付)	1 受給 2 非受給		
B 児童育成手当(所得制限以下のひとり親世帯等への給付)	1 受給 2 非受給		
C 児童扶養手当(所得制限以下のひとり親世帯等への給付)	1 受給 2 非受給		円
D 特別児童扶養手当(障がいのあるお子さんへの給付)	1 受給 2 非受給	1級	円
		2級	円
E 年金(遺族年金、老齢年金など)	1 受給 2 非受給		円
F 生活保護	1 受給 2 非受給		円

- 問 23-1 お子さんは、奨学金を受けましたか(受けていますか)。複数受けている場合は、直近のものについて教えてください。(○は1つ)

1 給付型の奨学金を受けた/受けている	3 その他のタイプの奨学金を受けた/受けている (具体的に)
2 貸与型の奨学金を受けた/受けている	4 奨学金は受けなかった/受けていない

- 問 23-2 「1 給付型の奨学金」または「2 貸与型の奨学金」を受けた(受けている)方におうかがいします。
 お子さんが、受けていた(受けている)奨学金は、1ヵ月あたりいくらですか。

1ヵ月 円

- 問 24 上記問 23 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金以外の収入についてお聞きます。

お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の、おおよその年間収入はいくらですか。(○は1つ)

※収入には、勤労収入(パート、アルバイトを含む)、事業収入(自営業等)、農業収入、不動産収入、利子・配当金、個人年金を含みますが、上記問 23 で回答いただいた、公的年金と社会保障給付金は除いてお考えください。

※複数の収入源がある場合(お父さんが勤労収入、お母さんに事業収入など)は、おおよその合算値(合計額)を教えてください。

1 収入はない(0円)	6 300～400万円未満	11 800～900万円未満
2 1～50万円未満	7 400～500万円未満	12 900～1000万円未満
3 50～100万円未満	8 500～600万円未満	13 1000～1500万円未満
4 100～200万円未満	9 600～700万円未満	14 1500～2000万円未満
5 200～300万円未満	10 700～800万円未満	15 2000万円以上

あなたのご家庭での生活についておうかがいします

問 25 現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(〇は1つ)

- | | | |
|------------|-------|---------|
| 1 大変ゆとりがある | 3 ふつう | 4 やや苦しい |
| 2 ややゆとりがある | | 5 大変苦しい |

問 26 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。(〇は1つ)

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1 赤字であり、借金をして生活している | 4 黒字であるが、貯蓄はしていない |
| 2 赤字であり、貯蓄を取り崩している | 5 黒字であり、毎月貯蓄をしている |
| 3 赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである | 6 その他(具体的に) |

問 27 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---------|-----------|----------|------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった | 3 まれにあった | 4 まったくなかった |
|---------|-----------|----------|------------|

問 28 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。(〇は1つ)

- | | | | |
|---------|-----------|----------|------------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった | 3 まれにあった | 4 まったくなかった |
|---------|-----------|----------|------------|

問 29 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～H のサービス・料金について、支払えないことがありましたか。(それぞれ〇は1つ)

	あった	なかった	該当しない (払う必要がない)
A 電話料金	1	2	3
B 電気料金	1	2	3
C ガス料金	1	2	3
D 水道料金	1	2	3
E 家賃	1	2	3
F 住宅ローン	1	2	3
G 税金・社会保険料	1	2	3
H その他の債務	1	2	3

問 30 あなたのご家庭が、金銭的に困った状況に置かれたときに、どのような対応が可能ですか。
(あてはまる番号すべてに〇)

- | | | | |
|-------------|----------------|-------------|-----------|
| 1 親族から借りる | 4 支出を抑える | 7 金融機関等で借りる | 10 その他 |
| 2 友人から借りる | 5 勤務時間を増やす | 8 会社で前借する | 11 何もできない |
| 3 公的機関に相談する | 6 副業(アルバイト)をする | 9 預貯金で対応する | |

お子さんのお母さんとお父さんのこれまでのご経験についておうかがいします

問 31 お子さんのお母さん・お父さんが、最後に卒業した学校は次のどれですか。
(それぞれ、あてはまる番号1つを口に書いてください)

1	中学校
2	高等学校(全日制)
3	高等学校(定時制または通信制)
4	高等専修学校(中学校卒業後に進む1~4年間の専修学校)
5	高等専門学校(中学校卒業後に進む5年間の学校、高専)
6	短期大学
7	専門学校(高校卒業後に進む1~4年間程度の専修学校専門課程)
8	大学
9	大学院
10	その他
11	わからない
12	母親・父親はいない

お母さん お父さん

問 32 あなたが 15 歳の頃の、あなたのご家庭の暮らし向きについて、最も近いものに○をつけてください。
(○は1つ)

1 大変ゆとりがあった	3 ふつう	4 やや苦しかった
2 ややゆとりがあった		5 大変苦しかった

問 33 あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。(あてはまる番号すべてに○)

1 両親が離婚した	5 親から暴力を振るわれた
2 親が生活保護を受けていた	6 育児放棄・放任(ネグレクト)された
3 母親が亡くなった	7 1~6のいずれも経験したことがない
4 父親が亡くなった	

問 34 あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。
(あてはまる番号すべてに○)

1 (元)配偶者(またはパートナー)から暴力をふるわれたことがある
2 子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある
3 育児放棄(ネグレクト)になった時期がある
4 うつ病(状態)になった時期がある
5 わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある
6 自殺を考えたことがある
7 夫婦げんかが多くなったり離婚を考えたことがある
8 1~7 のいずれも経験したことがない

公的支援の利用状況についておうかがいします

問 35 あなたのご家庭では、

(1) 以下の A~I の支援制度等をこれまでに利用したことがありますか。利用したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。

(2) (利用したことがある人にも、ない人にもお聞きします) 今後、利用することに興味がありますか。

	(それぞれ、○は1つ)						(2)
	(1)	利用したことがない					
	ある 利用したことが	た 利用したいと思 う ことがなかった	て 利用したかった が、条件を満た していなかった	等 利用時間や、制 度 等が使いづら かった	わ 利用の仕方が わからなかった	全 く 知 ら な か っ た 制 度 等 に つ い て	利用すること に興味 がある
A 高等学校等就学支援金 (授業料支援)	1	2	3	4	5	6	→ ない
B 高校生等奨学給付金 (授業料以外の教育費支援)	1	2	3	4	5	6	→ ない
C 生活保護	1	2	3	4	5	6	→ ない
D 生活福祉資金貸付制度	1	2	3	4	5	6	→ ない
E 地域食堂(子ども食堂)	1	2	3	4	5	6	→ ない
F フードパントリーによる 食料支援	1	2	3	4	5	6	→ ない

以下は、ひとり親世帯向けの制度です。ひとり親世帯の方のみお答えください。

G 児童扶養手当	1	2	3	4	5	6	→ ない
H 母子及び父子福祉資金	1	2	3	4	5	6	→ ない
I ひとり親家庭等医療費 助成制度(マル親)	1	2	3	4	5	6	→ ない

<参考>

A 高等学校等就学支援金	国公立問わず、高等学校等に通う所得等要件を満たす世帯の生徒に対して、授業料に充てるため、就学支援金を支給する制度。
B 高校生等奨学給付金	高校の授業料以外の教育費負担を軽減するため、所得が一定水準以下の世帯を対象に支援を行う制度。
C 生活保護	病気や失業などのため、生活費や医療費に困る世帯に対する支援制度。所得制限など支給要件を満たした世帯に対して、生活、教育、住宅、医療、介護、出産、生業、葬祭の8種類について扶助される。窓口は生活福祉課。
D 生活福祉資金貸付制度	所得が一定水準以下の世帯等を対象とした、低利または無利子の資金貸付。窓口は社会福祉協議会。
E 地域食堂(子ども食堂)	子どもたちの食の支援、居場所の支援等を目的に、民間団体などが無料または低額で食事を提供している場所。
F フードパントリー	支援を必要とする人に対して食料品を無料で提供する場所。
G 児童扶養手当	所得が一定水準以下のひとり親世帯等を支援するための手当。窓口は子ども青少年課。
H 母子及び父子福祉資金	ひとり親世帯を対象にした、低利または無利子の資金貸付。窓口は子ども子育て支援課。
I ひとり親家庭等医療費 助成制度(マル親)	ひとり親世帯等の経済的負担を軽減するため、子どもまたは母(父)が医療機関を受診した場合の医療費の一部負担金を助成する制度。窓口は子ども青少年課。

問 36 あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1 自分の親	10 市の子育て関連情報誌
2 配偶者(パートナー)	11 その他の冊子、雑誌など
3 兄弟姉妹や親戚	12 市ホームページ
4 友人や知人	13 テレビ
5 近所の人	14 SNSや動画サイト
6 自治会や民生委員など地域の人	15 その他のインターネット
7 保育所や幼稚園、認定こども園、学校の先生	16 その他(具体的に)
8 子ども家庭支援センター	17 特にない
9 行政の窓口、電話相談など	

問 37 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものに○をつけてください。(それぞれ、○は1つ)

	相談したことがある	相談したことがない			
		相談したいと思った ことがなかった	抵抗感があった	相談時間や場所な どが使いづらかった	相談する窓口や方 法がわからなかった
A 市役所の窓口	1	2	3	4	5
B 子ども家庭支援センター	1	2	3	4	5
C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクール カウンセラーなど	1	2	3	4	5
D 民生委員・児童委員	1	2	3	4	5
E 保健所(保健相談センター)	1	2	3	4	5
F ハローワーク	1	2	3	4	5
G 上記以外の公的機関	1	2	3	4	5

問 38 あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----|-------------------------------------|---|
| 1 | 子どものことや生活のことなど悩みごとを相談できること | |
| 2 | 同じような悩みを持った人同士で知り合えること | |
| 3 | 離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること | |
| 4 | 病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること | |
| 5 | 就職のための支援が受けられること | |
| 6 | 住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること | |
| 7 | 病気や出産、事故などの事情があったときに一時的に子どもを預けられること | |
| 8 | 子どもの就学にかかる費用が軽減されること | |
| 9 | 子どもが受けられる無料(低額)の学習支援制度 | |
| 10 | 子どもの居場所づくり | |
| 11 | 一時的に必要な資金を借りられること | |
| 12 | ストレスを発散できる場所、機会が提供されること | |
| 13 | その他(具体的に |) |
| 14 | 特にない | |

問 39 あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----|---|---|
| 1 | 行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する | |
| 2 | 携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる | |
| 3 | メールマガジンやSNS等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する | |
| 4 | 広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる | |
| 5 | 相談窓口等の数を多くする | |
| 6 | 相談窓口等の場所をわかりやすくする | |
| 7 | 相談窓口等を行きやすい雰囲気にする | |
| 8 | 休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす | |
| 9 | 保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う | |
| 10 | 保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする | |
| 11 | 病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う | |
| 12 | 病院で具体的な助言等が受けられるようにする | |
| 13 | 乳幼児健康診査を充実させる | |
| 14 | その他(具体的に |) |
| 15 | 特にない | |

問 40 あなたはヤングケアラーという言葉を知っていますか。(1つに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1 言葉も内容も知っている | 3 知らない →問 42 へ |
| 2 言葉は聞いたことがある | |

問 41 あなたの周りにヤングケアラーと思われる人がいた場合、どのように対応をしますか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|----------|
| 1 本人に様子を聞く | 5 何もしない |
| 2 家族、知人、友人に相談する | 6 わからない |
| 3 先生や部活の顧問等に相談する | 7 その他() |
| 4 関係機関(子ども家庭支援センターや
小平児童相談所など)に相談する | |

問 42 武蔵村山市に要望することがあれば、ご自由にお書きください。(例:生活費・通学費の手当、塾代の補助など)

--

問 43 あなたが今、困っていることや悩みごとがありましたら、ご自由にお書きください。

--

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。